

RV34xシリーズルータの時刻設定

目的

RV34xシリーズルータのシステムクロックは、ネットワーク同期のタイムスタンプサービスをメッセージログなどのソフトウェアイベントに提供します。同期された時間がないと、デバイス間のログファイルの正確な関連付けを維持することは困難です。ルータの時刻設定は、各ログエントリとタイムスタンプを表示するシステムログサービスなどのネットワーク問題のトラブルシューティングに役立つため、重要です。

システム時刻は、手動または自動で設定できます。ネットワークがネットワークタイムプロトコル(NTP)サーバに接続されていない場合は、手動設定が役立ちます。NTPは、クライアントまたはサーバの時刻を別のサーバ時刻または参照時刻源と同期するために使用されます。

この記事では、RV34xシリーズルータの時刻設定方法について説明します。

該当するデバイス

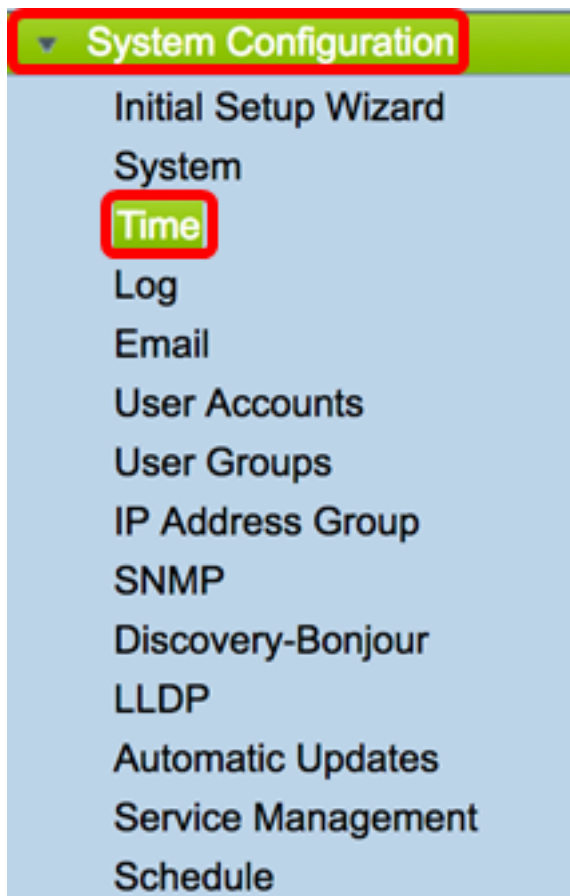
- RV34xシリーズ

[Software Version]

- 1.0.1.16

時刻の設定

ステップ1：ルータのWebベースのユーティリティにログインし、[System Configuration] > [Time]を選択します。



ステップ2:[Time Zone]ドロップダウンメニューから、ネットワークがあるタイムゾーンを選択します。

注：この例では、(GMT-6:00)アメリカ/コスタリカが選択されています。



ステップ3:[Set Date and Time (日付と時刻の設定)]領域で、オプションボタンをクリックして、システムがシステムのクロックと時刻の設定を取得する方法を決定します。次のオプションがあります。

- [自動(Auto)]：内部ネットワークタイムプロトコル(NTP)に基づいて日時を自動的に設定します。これを選択した場合は、ステップ4に進んでください。
- [手動(Manual)]:[日付と時刻の入力(Enter Date and Time)]領域に日付と時刻を手動で入力します。このオプションを選択した場合は、ステップ7に進みます。

注：この例では、[Auto]が選択されています。

Set Date and Time:



Auto



Manual

[ステップ4:\(オプション\)](#)ステップ3で[Auto]を選択した場合は、NTPサーバのオプションボタンをクリックします。次のオプションがあります。

- [デフォルト(Default)] : パブリックNTPサーバから日付と時刻を取得します。これを選択した場合は、ステップ11に[進みます](#)。
- [User Defined]:NTPサーバのIPアドレスを入力します。

注 : この例では、[User Defined]が選択されています。

NTP Server:



Default



User Defined

ステップ5: (オプション) [NTP Server1]フィールドに、NTPサーバアドレスを入力します。ホスト名は1つ以上のラベルで構成できます。ラベルは最大63文字の英数字で構成されます。ホスト名に複数のラベルが含まれている場合、それぞれのラベルはピリオドで区切られます。

注 : この例では、0.ciscosb.pool.ntp.orgが使用されています。

NTP Server 1:

0.ciscosb.pool.ntp.org

ステップ6: (オプション) [NTP Server 2]フィールドに、フェールオーバーとして機能する2番目のNTPサーバアドレスを入力します。

注 : この例では、1.ciscosb.pool.ntp.orgが使用されています。

NTP Server 2:

1.ciscosb.pool.ntp.org

[ステップ7:\(オプション\)](#)ステップ2で[手動]を選択した場合は、カレンダーアイコンをクリックしてカレンダーを開きます。左側または右側の矢印をクリックして、月を選択するか、[月]ドロップダウンメニューから月を選択します。

注 : この例では、2月を月として使用します。

Enter Date and Time

Daylight Saving Time:

Daylight Saving Mode:

From:

To:

From:

To:

Daylight Saving Offset

| Mon | Tue | Wed | Thu | Fri | Sat | Sun |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 30 | 31 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 |
| 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 |
| 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 |

ステップ8: (オプション) [月]ドロップダウンメニューの横の[年]フィールドに年を入力します。

Enter Date and Time

Daylight Saving Time:

Daylight Saving Mode:

From:

To:

From:

To:

Daylight Saving Offset

| Mon | Tue | Wed | Thu | Fri | Sat | Sun |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 30 | 31 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 |
| 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 |
| 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 |

ステップ9: (オプション) 今日の日付をクリックします。

Enter Date and Time

Daylight Saving Time:

Daylight Saving Mode:

From:

To:

From:

To:

Daylight Saving Offset

| | | Feb | | 2017 | | | |
|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|--|
| Mon | Tue | Wed | Thu | Fri | Sat | Sun | |
| 30 | 31 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | |
| 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | |
| 27 | 28 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | |
| 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | |

ステップ10: (オプション) [日付と時刻]フィールドの下のドロップダウンメニューで、[時間]、[分]、[秒]を設定します。これは軍隊形式です。

注：この例では、10:40:22が使用されています。

Enter Date and Time

Daylight Saving Time:

Daylight Saving Mode: By Date

10 : 40 ✓ 22

20

21

23

24

25

26

夏時間

[ステップ11:](#)(オプション)自分の国が夏時間(DST)を確認している場合は、[夏時間(Daylight Saving Time)]チェックボックスをオンにします。

Daylight Saving Time:

ステップ12: (オプション) オプションボタンをクリックして、夏時間モードを選択します。

次のオプションがあります。

- [By Date](#) : 年の特定の日時に従ってDSTのパラメータを指定するには、このモードを選択しま

す。

- [Recurring](#) : 異なる月の2日間の間にはDSTが発生するように設定するには、このモードを選択します。

Daylight Saving Mode: By Date Recurring

日付

ステップ13:[Step 12,]で[By Date]を選択した場合は、[From]領域で、DSTを開始するタイミングを設定する各フィールドに月、日、および時刻を設定します。

注：この例では、DSTは3月2日の午前2時に開始されます。

From: Month 3 Day 2 Time 02 : 00

ステップ14:[To (宛先)]領域で、DSTが終了するタイミングを設定する各フィールドの月、日、および時間を設定します。

注：この例では、DSTは11月11日の午前2時に終了します。

To: Month 11 Day 16 Time 02 : 00

定期的

ステップ15：ステップ12で[Recurring]を選択した場合は、[Month]フィールドに、地域でDSTが始まる年の月に対応する数値を入力します。

注：このフィールドに入力する数値は、[宛先]フィールドに入力する数値より大きくなければなりません。この例では、3が3月を表すために使用されます。

From: Month 3 Week 1 Day Sun Time 02 : 00

To: Month 11 Week 1 Day Sun Time 02 : 00

ステップ16:[Week]フィールドに、DSTを開始する月の週を入力します。

注：この例では、1を使用して月の第1週を表示します。

From: Month 3 Week 1 Day Sun Time 02 : 00

To: Month 11 Week 1 Day Sun Time 02 : 00

ステップ17:[Day]ドロップダウンメニューから、地域でDSTが開始する曜日をクリックします。

注：この例では、日曜日を使用します。

From: Month 3 Week 1 Day Sun Time 02 : 00
To: Month 11 Week 1 Day Sun Time 02 : 00

ステップ18:[Time]ドロップダウンリストで、上または下矢印を使用して、地域でDSTが開始する時刻を選択します。

注：この例では、2:00 AMが使用されています。

From: Month 3 Week 1 Day Sun Time 02 : 00
To: Month 11 Week 1 Day Sun Time 02 : 00

ステップ19:[To (宛先)]領域で、ステップ15からステップ18のステップを繰り返して、地域でDSTが終了する月、週、日、および時間を指定します。

注：この例では、DSTは11月1日の日曜日の02:00AMに終了するように設定されています。

From: Month 3 Week 1 Day Sun Time 02 : 00
To: Month 11 Week 1 Day Sun Time 02 : 00

ステップ20:[Daylight Saving Offset]ドロップダウンリストから、DSTが現在の時間をオフセットする分数を選択します。

注：この例では、+15が使用されます。

To:
From:
To:
Daylight Saving Offset +15 Minu
Apply Can

ステップ21:(オプション)構成を永続的に保存するには、[構成のコピー/保存(Copy/Save Configuration)]ページに移動するか、ページの上にあるアイコンをクリックします。



これで、RV34xシリーズルータの時刻設定が正常に完了したはずです。

Time



Success. To permanently save the configuration. Go to [Configuration Management](#) page or click Save icon.

Current Date and Time: Wednesday, February 8, 2017, 10:25:51 PM

Time Zone: (GMT -06:00) America/Costa Rica

Set Date and Time: Auto Manual

NTP Server: Default User Defined

NTP Server 1: 0.ciscosb.pool.ntp.org (Hint: 1.2.3.4 or abc.com or fc02::0)

NTP Server 2: 1.ciscosb.pool.ntp.org (Hint: 1.2.3.4 or abc.com or fc02::0)

Enter Date and Time: 08/02/2017

22 : 25 : 51

Daylight Saving Time:

Daylight Saving Mode: By Date Recurring

From: Month 3 Day 2 Time 02 : 00

To: Month 11 Day 16 Time 02 : 00

From: Month 3 Week 1 Day Sun Time 02 : 00

To: Month 11 Week 1 Day Sun Time 02 : 00

Daylight Saving Offset: +15 Minutes

Apply

Cancel